

科目名				授業の種類		授業担当者	
教職概論				講義		荒井 聡史	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
2	2	30	15	後期	幼免:必修	保育士:必修	
〔授業の目的・ねらい〕							
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の役割、倫理、制度的位置づけについての基礎的知識や保育職の専門性、保育者の現代的課題について理解する。 ・自己の保育者観を深め、保育者としての資質形成に向けて自ら学ぶ意欲や態度を身につける。 							
〔授業全体の内容及概要〕							
<ul style="list-style-type: none"> ・受講生各人がこれまでに受けてきた日常的な教育体験を出発点にし、それを歴史、思想・理念、制度、カリキュラムといった視座に関する基本的理論や考え方からとらえ直すことによって検討する。 ・シラバスに示した内容について、適宜グループワークを取り入れながら事例に基づいた講義を行う。 							
〔受講上の注意事項〕							
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭免許、保育士資格という社会的地位にかかわる授業であるため、評価は授業態度も含めて厳正に行う。 ・自分の考えを述べる場を設定する。よって、常に自分なりの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。 							
〔使用テキスト〕				〔評価基準〕			
使用しない。講義中に適宜資料を配布する。				以下を総合して判定する。・試験(30%) ・個人発表(20%) ・グループ活動(20%) ・講義内の活動と提出課題(30%)			
〔授業の日程と各回のテーマ・授業内容〕							
回	項目			授業内容			
1	オリエンテーション～保育者のイメージ			授業内容や進め方の全体的な流れを理解する 自己の経験から保育者観を深める／個人発表シートの作成			
2	保育者の身分と地位①			幼稚園教諭の身分と地位／個人発表シートの作成			
3	保育者の身分と地位②			保育士の身分と地位／個人発表①			
4	保育者としての資質形成①			保育者の資質形成過程／個人発表②			
5	保育者としての資質形成②			研修の制度と実際／個人発表③			
6	保育者のライフステージ			保育者集団の特徴／個人発表④			
7	専門職とは何か①			反省的実践家としての教師／個人発表⑤			
8	専門職とは何か②			保育者の人間性を潜り抜けた専門性／個人発表⑥			
9	子どもを理解するとは			プロセスレコードから考える／プロセスレコードの作成①			
10	保育の感性を磨く			プロセスレコードから考える／プロセスレコードの作成②			
11	研修シミュレーション①			アイスブレイク、グループワーク			
12	研修シミュレーション②			グループカンファレンス①			
13	研修シミュレーション③			グループカンファレンス②			
14	保育者とは何かを振り返る			これまでの学習をふまえて保育者観を再構築する／プロセスレコードの評価			
15	講義のまとめと確認			確認テストと授業評価			

実務教員としての経歴	
実務経験と授業の関連	